



2026年2月13日

各 位

会社名：大日精化工業株式会社

代表者名：代表取締役社長 高橋 弘二

(コード番号 4116 東証プライム)

問合せ先：専務執行役員 最高財務責任者 駒田 達彦

TEL 03-3662-1638

連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年11月10日に公表しました2026年3月期の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2026年2月13日開催の取締役会において、2025年5月15日に公表しました2026年3月期の配当予想を、下記のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 127,300	百万円 7,200	百万円 8,200	百万円 6,900	円銭 404.22
今回修正予想 (B)	123,000	7,600	8,500	7,500	439.40
増減額 (B-A)	△4,300	400	300	600	-
増減率 (%)	△3.4	5.6	3.7	8.7	-
(参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	124,760	7,004	7,764	10,289	599.63

(2) 修正の理由

売上高は、国内・米国現地法人の輸送機器業界向けウレタン樹脂及び中国現地法人のコンパウンド・着色剤が低調に推移したこと、期中の平均為替レートが円高に推移し海外現地法人の売上高が減少したことなどにより減収となる見込みです。

一方、営業利益は、設備投資による減価償却費及び労務費の増加があったものの、高付加価値製品の伸長、原材料価格や各種コスト上昇による販売価格の是正が進み、増益となる見込みです。

また、政策保有株式の売却による投資有価証券売却益を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となる見込みです。

以上の結果、2026年3月期の連結業績予想につきまして、前回発表を上回る見通しとなったことを踏まえ、上記の通り修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2025年5月15日公表)	87円00銭 (普通配当72円00銭) (特別配当15円00銭)	87円00銭 (普通配当72円00銭) (特別配当15円00銭)	174円00銭 (普通配当144円00銭) (特別配当30円00銭)
今回修正予想		121円00銭 (普通配当106円00銭) (特別配当15円00銭)	208円00銭 (普通配当178円00銭) (特別配当30円00銭)
当期実績	87円00銭 (普通配当72円00銭) (特別配当15円00銭)		
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	66円00銭 (普通配当51円00銭) (特別配当15円00銭)	90円00銭 (普通配当75円00銭) (特別配当15円00銭)	156円00銭 (普通配当126円00銭) (特別配当30円00銭)

(2) 修正の理由

当社は、2025年3月期を期初とする3か年中期経営計画「明日への変革 2027」において、同期間中（2025年3月期～2027年3月期）における株主還元方針を以下のとおりとしております。

- ・3か年平均総還元性向50%以上
- ・配当性向40%以上（特別配当を除く）
- ・1株当たり年間配当金の下限を100円とする（特別配当を除く）
- ・自己株式の取得を機動的に実施

また、2024年8月に売却が完了した当社旧川口製造事業所の譲渡に伴う特別利益を原資として、「2024年3月期から2027年3月期の4期間にわたり、毎期1株当たり30円の特別配当（総額約20億円）として実施すること」をお知らせしております。

上記方針の配当性向40%以上（特別配当を除く）及び連結業績予想の修正を踏まえ、2026年3月期の期末配当金における普通配当について、前回予想より34円増額した106円に修正し、特別配当15円と合わせ合計額を121円に修正いたします。

これにより年間配当金は、すでに実施済の中間配当金87円（うち普通配当72円、特別配当15円）と合わせて、1株当たり208円（うち普通配当178円、特別配当30円）となる予定であります。

なお、本件につきましては、2026年6月26日開催予定の第123期定時株主総会の決議を経て実施する予定であります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

以上